

感染症情報 4月15日～21日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,657例(堺市	74例)
②溶連菌感染症	563例(堺市	53例)
③RSウイルス感染症	258例(堺市	17例)
④手足口病	245例(堺市	8例)
⑤伝染性紅斑	158例(堺市	9例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 644例(堺市 42例)

感染症報告数は前週比18.8%増の3,166件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、伝染性紅斑であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して19%増、堺市は4%増であった。溶連菌感染症は府下で19%増、堺市で13%増であった。RSウイルス感染症は府下で11%増、堺市で25例→17例であった。手足口病が府下で52%増、堺市で3例→8例となった。伝染性紅斑が府下で34%増、堺市では6例→9例であった。

インフルエンザは府下で前週328例→今回644例であり、2週連続の増加(前週比96%増)となった。定点当たりの報告数は1.09→2.14まで増えた。堺市では前週17例→今回42例となった(147%増)。再流行が懸念される。

麻疹は府下で1例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は132例となった。

風疹は府下で1例あり(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は111例となった。